

## 県立高等学校再編整備の後期実施計画（平成20年度実施対象校）について

再編の内容	統合		中高一貫教育校	全日制課程の単位制高等学校(学科改編)
対象高校	<b>磯原郷英高等学校</b> (磯原及び北茨城の統合による新高校)	<b>岩井高等学校</b> (岩井及び岩井西の統合による新高校)	<b>並木中等教育学校</b> (並木高校を中等教育学校に改編)	<b>勝田工業高等学校</b>
設置場所	北茨城市磯原町磯原912 (磯原高等学校の校地活用)	坂東市岩井4319-1 (岩井高等学校の校地活用)	つくば市並木4-5-1 (並木高等学校の校地活用)	ひたちなか市松戸町3-10-1
改編内容 <small>*数字は募集学級数</small>	磯原高校（普通科5） 北茨城高校（普通科2） 普通科6	岩井高校（普通科7） 岩井西高校（普通科2） 普通科8	高校の募集を減じて中等教育学校に改編 【中等教育学校の募集】 前期課程3学級(H22年度から4学級) 【高校の募集】 H20,21:5学級,H22:4学級,H23:募集停止	工業に関する学科 (機械科2,電子機械科2,電気科2)  工業に関する学科 (総合工学科6:単位制)
設置学科	全日制:普通科(単位制)	全日制:普通科	後期課程は全日制普通科単位制	全日制:工業に関する学科(総合工学科単位制)
学期制	2学期制	3学期制	2学期制	2学期制
改編のねらい	両校のこれまでの教育実績を生かしながら単位制を導入するとともに、進路希望等に応じた教育課程を編成し、生徒一人ひとりの個性の伸長や学力の向上を図るとともに進路希望の実現を目指す。教育課程の編成に当たっては、2年次からは共通科目や自由選択科目のほか、選択科目群を設ける。進学希望者と就職希望者の両方に対応できる教育課程を編成し、きめ細かな指導を通して生徒の自ら学ぶ意欲や態度の育成を図る。	統合する両校のこれまでの教育実践を生かし、就職や進学に対応できる、地元根ざした高校として、進学指導やキャリア教育などの充実を図る。基礎学力の定着・向上のための学習指導を充実するとともに、生徒の進路希望に対応したコースを設定するなど、きめ細かな進路指導を推進する。豊かな人間性、道徳性の涵養を図り、心身共に健康な人間の育成に努める。	6年間の継続的・計画的な教育指導の展開により、生徒の個性を伸長する。また、異年齢集団による活動を行うことにより、社会性や豊かな人間性をより育成する。これまでの中学校・高等学校に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫教育も選択できるようにすることにより、中等教育の多様化を推進する。	地域における特色ある学校づくりを目指し、単位制を導入した総合工学科とすることにより、工業一般に関する基礎的・基本的な内容の確実な定着と深い専門的な知識・技術を有する人材を育成する。個々の生徒の興味・関心の高い学習内容を選択させることで、自ら学ぶ意欲や態度の育成を図るとともに、知識や技能の定着・向上を目指す。
改編の主な内容	多様な選択科目群の開設 生徒が多様な興味・関心や進路希望等に応じて学習できるよう、2・3年次において多様な選択科目群(3年次の場合、国立文系、私立文系、理系、英語系、事務系、福祉系、観光系など)を設ける。 学校設定科目の開設 生徒の興味・関心や進路希望に応じた学習ができるよう「世界史研究」、「物理研究」など、学校設定科目を多数開設する。 地元の産業の学習 観光などの地元の産業に関することを授業の中に取り入れることで、就職希望者の選択科目の幅を広げ、地元産業の理解を深める。	進路希望に応じたコースの設定 1学年から卒業後の進路希望に応じたクラス編成を行い、生徒の進路意識の向上を図る。2学年からは生徒の進路希望に対応する3つのコースを設け、進路希望の実現を図る。 進路ガイダンスの充実・キャリア教育の推進 外部講師や大学の出前授業などを活用し、進路ガイダンス機能の充実を図るとともに、就業体験や職場見学を実施して勤労観・職業観を育て、キャリア教育を推進する。 基礎学力の定着・向上のための指導体制 1学年の数学・英語の習熟度別少人数授業、全学年での国語・数学小テストの実施などにより、基礎学力の定着と向上を図る。 「在り方生き方教育」の充実 1学年の道徳及び2・3学年の総合的な学習の時間を通し、人間としての「在り方生き方教育」を実践し、豊かな人間性、道徳性を涵養する。	6年間の計画的・継続的な教育活動 1・2年次を「基礎期」(すべての教科の基礎・基本をしっかりと学習)、3・4年次を「充実期」(生徒の個性と学力を伸ばす)、5・6年次を「発展期」(生徒の進路の実現を目指す)と位置付け、それぞれの時期に応じた教育活動を行う。 異年齢集団の中の活動 前期課程と後期課程の生徒が共に部活動や学校行事を行ったり、チューター制(通学方面別の生徒集団などで、先輩が後輩の面倒をみるシステム)などにより思いやりの心やリーダーシップを育成する。 地域の特色を生かした教育 周辺の大学や研究機関の見学や体験学習を通し科学教育を行う。また、地域の国際関係機関との交流や海外語学研修などにより国際理解教育を行う。	将来のスペシャリストとしての人材育成 地域の企業との連携を図りながら、旋盤加工や溶接等のものづくりの技術や、ロボットを初めとしたコンピュータを活用する制御技術などを習得させることで、将来のスペシャリストとして必要な専門的な知識・技術を有する人材を育成する。 総合工学科の設置 学校設定科目をはじめとした多くの選択科目から、個々の生徒の興味・関心の高い内容を選択履修させ、学習意欲を高めるとともに、自ら学ぶ意欲や態度の育成を図る。 個に応じた教育の展開 ホームルームの時間や個別面談において生徒へのきめ細かなガイダンスを行い、生徒一人一人に将来の勤労観、職業観を見出させるとともに、それに応じた授業を選択させる。

## 県立高等学校再編整備の後期実施計画（平成20年度実施対象校）について

再編の内容	学科改編		総合選択制	定時制課程
対象高校	<b>三和高等学校</b>		<b>波崎高等学校</b>	
設置場所	古河市五部54-1		神栖市土合本町2-9928-1	
改編内容 <small>*数字は募集学級数</small>	普通科4 〔普通科3 普通科ヒューマンサービスコース1〕	普通科3 機械科1 電気科1 情報技術科1	普通科3 機械科1 電気科1 工業化学・情報科1	普通科3・商業科2・家政科1に総合選択制を導入
設置学科	全日制：普通科	全日制：普通科 工業に関する学科 (機械科,電気科,工業化学・情報科)	全日制：普通科 商業に関する学科(商業科) 家庭に関する学科(家政科)	定時制：普通科 午前部 1学級(40人) 午後部 1学級(40人) 夜間部 1学級(40人)
学期制	3学期制		2学期制	
改編のねらい	少子化・高齢化社会のもとで高まる，社会や生徒のヒューマンサービス教育分野への要望に応える。 専門教科として「ヒューマンサービス」を設定し，専門科目の学習や勤労体験学習などを通して，将来，就職した職場で行われる教育の入門的指導を行い，「働く意欲・忍耐力，作業の基礎力」を育成する。 社会福祉施設などでの体験や交流活動を重視した道徳教育（H17～18県研究指定校）の成果を踏まえ，「共生」に関する教育を発展させ，「豊かな心」を培う。	工業化学に関する知識と技術を学習し，化学工業の技術者として活躍できる人材を育成することにより，日本有数の化学コンビナートを有する地域のニーズに応え，鹿島経済特区の人材育成に資する。 新設する「工業化学」コースでは，工業化学に加え情報技術の基礎知識を有する，企業が求める実践的な人材を育成する。 企業実習の実施など，地元企業との連携を深めることにより，地域の教育資源を活用した教育を実践し，地域産業への理解を深めるとともに，将来の地域の担い手となる人材を育成する。	体験的・実践的な学習を通して勤労観・職業観を涵養する職業系専門学科(商業科，家政科)のもつ教育力と，学習の基礎・基本を養う普通科のもつ教育力を機能的に活用する。 学科の枠を越えた自由選択科目群を設けることにより，生徒の興味・関心などを生かした選択科目の履修ができるようにし，進路意識の高揚と自己実現を図る。 普通科の生徒が将来の資格につながる科目を選択したり，専門学科の進学希望者が必要とする普通科目を選択するなど，生徒の必要に応じた科目の履修を可能にし，進路希望の実現を目指す。	勤労青少年や，不登校経験者，中途退学者など多様化する生徒の学習の形態を準備し，そのニーズに応えるとともに，生徒一人一人の自己理解，自己実現を促す。 自分のライフスタイルに合わせて学ぶ時間帯を選ぶことや，多様な科目群から学びたい科目を選ぶことにより，生徒の主体的な学習を促す。 生徒と社会人が共に学び，多様な人間関係を作るとともに，心のふれ合いを大切にした指導により，生徒の豊かな人間性を培う。
改編の主な内容	専門教科「ヒューマンサービス」の設定 この教科は「社会福祉基礎」「ビジネスマナー」「安全衛生基礎」「品質管理基礎」の科目で構成し，「共生」に関する学習を中心にとらえつつ，挨拶や話し方の基本，人間関係の作り方，コンプライアンス，企業モラルなど，実際の職場で必要性が求められている内容を学習する。 (は学校設定教科・科目) 習熟度による少人数編成授業の充実 国語，数学，英語では，ヒューマンサービスコースを含めた全クラス統合による習熟度別授業を行い，就職から進学まで，生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導を展開する。 勤労体験学習の充実 「総合的な学習の時間」において勤労体験学習(ビルメンテナンス，食品加工，クリーニング等)を行い，勤労意欲や忍耐力を実践的に培う。	コース別の専門的な学習 1学年では生徒全員が工業全般の基礎及び工業化学・情報技術の基礎を共通に学び，2学年からは生徒の興味・関心や進路希望に応じて2つのコースに分かれて専門的な内容を学習する。 ・「工業化学」コース(20名程度) 主に工業化学や化学製品の製造に関する基礎的な知識と技術を学習する。 ・「情報技術」コース(20名程度) 従来の「情報技術科」と同様，プログラミング，ハードウェア，ソフトウェアなど主にコンピュータに関する基礎的な知識と技術を学習する。 地元企業との連携を深めた教育実践 地元企業におけるデュアルシステムやインターンシップの実施及び社会人講師の活用など，企業との連携を深めた教育実践を行うことにより，勤労観・職業観の育成を図るとともに，地域産業の発展に貢献できる実践的な人材の育成に努める。	選択コース制の導入による専門性の高い教育内容 2学年から，商業科には会計ビジネスコースと情報ビジネスコースを，家政科にはフードデザインコースと福祉コースを設け，より専門性の高い内容を学習する。普通科では，将来の進路希望に応じた類型(専門学校・就職を目指すA類型，大学進学を目指すB類型)を設けて進路希望の実現を図る。 学科の枠を越えた自由選択科目群の設定 生徒の興味・関心に応じ，自分の所属する学科以外の科目を履修できるように，商業科・家政科・普通科A類型において，2学年で4単位，3学年で4単位，合計8単位の自由選択科目群から学科の枠を越えた科目の履修を可能とする。	昼夜開講の三部制に改編 午前部，午後部，夜間部から在籍する部を選ぶ。在籍以外の部，高等学校卒業程度認定試験などの単位により3年間で卒業することも可。 多彩な科目を開講 芸術・生活関連科目を開講。習熟度別授業を展開。開設科目は，全日制最終入学生の38科目から，午前・午後部で各50程度に増設。 学校カウンセリング体制の充実 カウンセリングコーディネーターなどの常駐。授業は少人数制できめ細かな指導。生徒の居場所としての多目的ルーム(談話室)を整備。必修科目「心理学」を開講。 地域に開かれた学校づくり 地域の社会人が生徒と共に学ぶ科目履修生(聴講生)を受け入れる。地域でのボランティア活動，就業体験などを単位認定する。